

# HIR ニュースレター

第4号

April, 2011

<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学の学術研究成果を発信する「広島大学学術情報リポジトリ」と、オープンアクセスに関するニュースをお届けします。

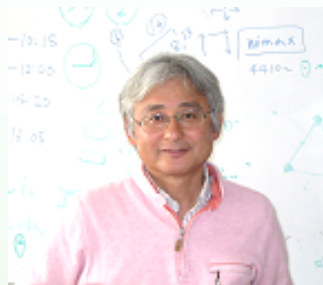
## 第4号 コンテンツ

- 研究室訪問 第2回 小林亮教授
- 図書館著作権セミナー開催
- シリーズ リポジトリFAQ 「紀要論文の登録」
- お知らせ

## 研究室訪問第2回 小林亮教授 (大学院理学研究科)



研究成果公開のプラットフォームである学術情報リポジトリ、その運営には研究成果の生まれる過程を知ることが必要、と考え、図書館では、定期的に先生方の研究室を訪問し、研究内容やリポジトリへのご意見を伺っています。ここでは、その一部をご紹介します。第二回は、昨年10月に2度目のイグ・ノーベル賞を受賞された大学院理学研究科数理分子生命理学専攻の小林亮先生です。



小林亮教授

ホワイトボードで分かりやすく説明していただきました！

### Q:先生の研究テーマについて概要を教えてください

もともとは、数理モデルを用いて、自然界における自発的な構造形成（例えば結晶成長）を研究していました。現在は、生物の構造形成・運動・情報処理の絡み合いを、やはり数理的な手法で理解することを目標にしています。このような研究内容ですので、日頃から生物学者やロボット学者などの他分野の人と共同で研究をしています。特に今は、生物の運動と制御の秘密を数理モデルによって解明し、あたかも生物のようにしなやかにタフに動き回れるロボットを作ることが夢です。

### Q:イグ・ノーベル賞を受賞された論文\*について、粘菌と都市交通の関係に着目した契機を教えてください

粘菌が複数の餌場をつなぐようにネットワークを形成したものが、交通網に似ているという直感（公立はこだて未来大学の中垣氏による）から、実験で得られた粘菌のネットワーク、実際のJRの鉄道網、数理モデルのシミュレーション結果を比較しました。比較の際の評価基準としては、①輸送効率、②コスト、③対故障性（断線に対する保障性）などがあり、それらのバランスが大事です。粘菌のネットワークは、実際のJRの鉄道網と同等かそれ以上に優れたものであることが分かりました。

\*Rules for Biologically Inspired Adaptive Network Design, Science Vol.327 no.5964 page.439-422, 2010.

本学リポジトリでは著者原稿を <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00029243> にて公開しています。

### Q:研究を行う上で必要な情報にはどのようなものがありますか？

分野の論文誌、会議資料、インターネットでの情報検索（Google Scholarなど）です。特に、YouTubeは、アメーバの運動など、研究する際に役立つ動画を見ています。誰がどのようにして作ったかが分からないため、論文の材料にはなりません、研究の参考にはなります。

### Q:広島大学学術情報リポジトリについてご意見、アドバイスをお願いします。

Googleで検索した時、リポジトリの検索結果が上位に表示されるようになるといいですね。

（上記論文は、本家Scienceの関係記事が多数あるため上位に表示されませんでした。今後の検討課題とさせていただきます。）



インタビュー：2010.12

担当：濱（写真右）・上野さん（写真左：島根県立大学より実務研修のため来広）

# 図書館著作権セミナー開催



## 学術論文の執筆と公開：論文を書くときに知っておきたい権利とその知識

学術論文を執筆・公開する際の特許に関わる制約、引用や出版社への著作権譲渡、リポジトリなどによる電子公開に際しての公衆送信権など、さまざまな注意点について、解説がなされました。また、図書館より提案している学位論文リポジトリ登録についてのご紹介もしました。これから論文を書く学生さんを始め、学内外から約70人の参加をいただき、セミナー終了後も、熱心な質問者の列が途切れませんでした。多くのご参加ありがとうございました。



平成23年3月9日(水) 広島大学図書館ライブラリーホール

### プログラム

- 【開会挨拶】佐藤正樹(広島大学図書館長)
- 【講演】「学術論文の広島大学学術情報リポジトリへの登録について」石井道悦(広島大学副図書館長)
- 【講演】「学術論文と知財」末次憲一郎(広島大学産学・地域連携センター 知的財産企画部門長)
- 【講演】「安心して公開できる論文を書くために知っておきたい著作権」黒澤節男(元九州大学大学院教授)



末次知的財産  
企画部門長



黒澤節男氏

黒澤節男氏プロフィール  
1971-83年 文化庁著作権課  
1983-95年 広島大学図書館事務部長等を歴任  
1997年 九州芸術工科大学教授  
2003年 九州大学大学院芸術工学研究院教授  
2005年～ 九州大学附属図書館研究開発室特別研究員  
2007年～ 広島大学図書館リポジリアドバイザー  
「Q&Aで学ぶ図書館の著作権基礎知識」  
(太田出版)他著書多数



セミナーの資料は、  
[http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/topics/c\\_semi2011.html](http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/topics/c_semi2011.html)  
に掲載しています。

参考：  
黒澤節男「機関リポジトリと著作権Q&A」  
<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00023065>

# シリーズ・リポジトリFAQ 第3回 紀要論文の登録



リポジトリでは、雑誌論文・学内紀要・報告書・学位論文など、多様な種類の学術成果を公開しています。図書館では、これらのコンテンツ数を拡充し、より多くの方に役立てていただくため、先生方に論文等のご提供をお願いしています。ここではリポジトリ業務について寄せられたご質問とその答えを掲載いたします。

Q: 学内の研究紀要をリポジトリで公開しようと考えています。どのような手続きをすればよいですか？



A: まず、著作権の帰属先をご確認下さい。  
著作権が論文の各著者にある場合、各著者の同意をお取りいただき、その上でリポジトリへの登録同意書を代表者様名義でご提出下さい。様式はリポジトリのホームページにございます。今後、リポジトリに登録することができるよう紀要の投稿規程を改定することをお勧めします。  
著作権が紀要の編集委員会(または学部)にある場合、リポジトリへの登録同意書を代表者様名義でご提出下さい。紀要の投稿規程には、掲載論文を本学リポジトリにおいて無償で電子公開する旨を明記していただくと、なお良いと思います。  
投稿規程の文例や著作権の詳しい解説は、上記の黒澤節男氏著「機関リポジトリと著作権Q&A」p.28-30をご覧ください。

平成23年度より、学術情報リポジトリ担当は、学術情報システム企画担当と合併し、学術情報企画担当に名称を変更、メールアドレスも下記の通り変更になりました。

また、広島大学学術情報リポジトリ(HiR)のパンフレットも更新しましたので、ぜひご覧ください。  
[http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/portal/main/documents/hir\\_pamph.pdf](http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/portal/main/documents/hir_pamph.pdf)

このパンフレットは、各館に常備しています。ご自由にお持ち帰り下さい。

リポジトリが皆様にとって、より身近で役立つ存在となるよう努めて参ります。今後ともよろしくお願い致します。



HiRニュースレター 第4号 平成23年4月発行 広島大学図書館

学術情報企画担当: tosho-kikaku-jyoho@office.hiroshima-u.ac.jp

※本誌は、<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/newsletter/> でご覧いただけます。